

令和5年度(2023 年度)

# 家庭教育支援者養成研修

家庭教育ナビゲーターや家庭教育支援チーム構成員など、家庭教育支援に携わる方や行政担当者を対象に、今後の取組を実施するに当たって必要な知識や技術を修得するための研修会を開催しました。

家庭教育支援や社会教育が専門分野である、北海道文教大学教授の吉岡亜希子氏による講話や、全道各地で保護者の現状に寄り添った活動を継続されている家庭教育支援チーム構成員や家庭教育支援ナビゲーターからの実践発表、少人数グループに分かれた意見交換を通して、学びと交流を深めました。

吉岡氏からは、「家庭を取り巻く環境が変化する中、社会教育としての家庭教育支援の重要性が問われており、親だけではなく成人期の人々を巻き込む視点が求められる。」「保護者同士の学び合いの場を創出することが重要である。」との講義がありました。また、恵庭市・遠別町・旭川市の実践者からの実践発表では、子育てに関わるイベントの開催や市町村教委が主催する取組への協力を通して、保護者が気軽に相談しやすい機会を作ることが重要であるとの説明がありました。

グループに分かれた交流では、保護者の価値観や子育て環境が大きく変化する中で、どのようなアプローチが必要なのか、それぞれの地域の取組をもとに意見を交わす姿が見られました。

## 【研修会の概要】

- 1 期 日 令和5年(2023年)11月14日(火) 13:00~16:00
- 2 開催方法 オンライン(web会議システム Zoom)
- 3 参加者 家庭教育ナビゲーター、家庭教育支援チーム構成員、市町村担当者など 77名
- 4 日程・内容

| 12:45 | 13:00 | 13:10 | 14:10 | 15:50   | 16:00 |
|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
|       | 入室    | 開会    | 講義    | 実践発表・交流 | 閉会    |

### ■講話「今こそ求められる社会教育としての家庭教育」

今日的な家庭教育の現状と課題を踏まえて、家庭や地域の実情に応じた家庭教育支援の在り方について、社会教育の視点から、家庭教育支援活動を通じた、学びと交流の場づくりや関係性の構築の重要性について理解を深めた。

### ■実践発表・交流「地域における家庭教育支援の実践」

全道各地で取り組まれている家庭教育支援の取組について実践発表を行っていただいた後、少人数のグループに分かれて、日々の活動の悩みや疑問を交流することで、今後の取組を充実させる上でのヒントを得た。

#### 【実践発表団体】

- ア、えにわはぴナビネットワーク(恵庭市)
- イ、アート&クリエイト(遠別町)
- ウ、旭川市教育委員会社会教育課・家庭教育ナビゲーター



## 【参加者から寄せられた感想】

- ・家庭教育支援の取組に、社会教育の観点を持つことの重要性を初めて知ることができた。
- ・家庭教育支援者一人ひとりの力は小さくても、家庭教育支援チームなどが組織として取り組むことで魅力的な取組を展開できると知って、元気をもらった。
- ・保護者のニーズに寄り添った支援をするための、他地域の実践発表は参考になる部分が多かった。
- ・教育と福祉、民間と行政など、様々な連携が重要であると改めて気付くことができた。